

## H170327～31 東京 高崎 記録

平成17年3月27日(日) 旅行日  
和歌山から東京へ移動

東京国立博物館 東京都台東区上野  
中宮寺展 国宝菩薩半跏像  
常設展 見学

国立科学博物館 東京都台東区上野

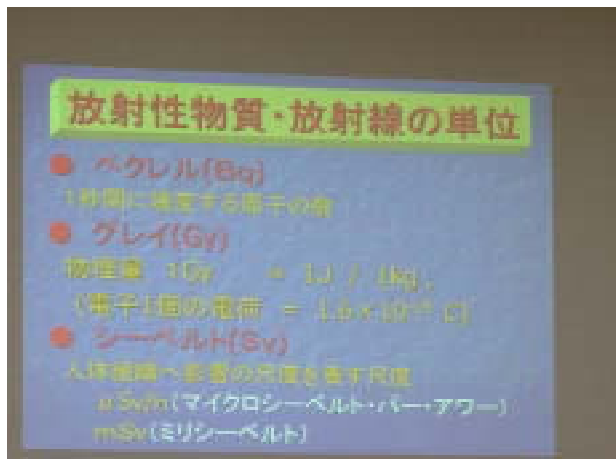


恐竜博 2005 ティラノサウルス「スー」  
常設展 見学

東京から高崎へ移動、高崎ワシントンホテル  
プラザ着 宿泊

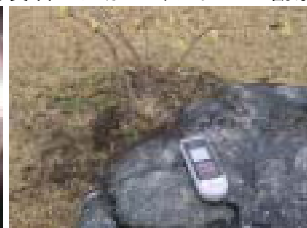
28日(月)  
原子力研究所 高崎研究所にて  
受付、開講式、オリエンテーション

講義1「生活の中の放射線」  
高崎研究所 三浦吉史安全管理課長  
写真 講義の一コマ



実習1「放射線を目で見てみよう」  
国際医療福祉大学 油井多丸非常勤講師  
霧箱を使った観測

実習2「放射線をはかってみよう」  
放射線計測協会 中村業務課長、千田研修課長  
写真左 霧箱の飛跡 写真右 はかるくんによる観測

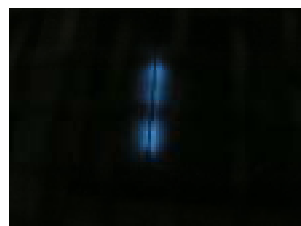


写真左 遮蔽実験 写真右 タイル描画下書き  
実習準備「タイル描画」  
情報交換会 セミナー参加者及び主催者による状況報告

3月29日(火)  
原子力研究所 高崎研究所にて  
講義2「放射線の人体への影響と防護」  
放射線医学総合研究所 明石被爆医療部長  
最も印象に残る講義でした。東海村の事故  
による人体への影響のすさまじさを痛感し、  
事故を起こさないことの重要性を再認識しました。

講義3「環境保全への放射線利用」  
日本原子力研究所 小嶋環境保全プロセス安全  
グループリーダー

施設見学と実習  
「コバルト60の照射施設〔チェレンコフ光〕」  
写真左照射したガラス瓶 写真右チェレンコフ光



# H170327～31 東京 高崎 記録

## 「電子加速器施設（絵タイルのコーティング）」

写真左 絵タイルの製作



写真右形状記憶プラスチック



## 「電子加速器施設（リヒテンベルグ図形）」

写真左 電子加速器



写真右 放電破壊による発光

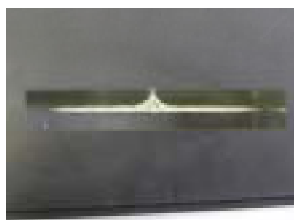
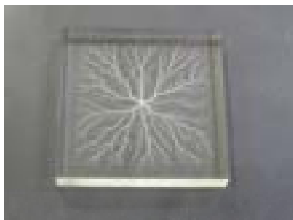


写真 リヒテンベルグ図形

原子力・放射線、エネルギー・環境問題の理解を深め、自身の学習のため、授業に役立てたいと思い参加しました。実験実習では、道具も、操作も簡単でどこでも出来るものをさらに開発、紹介して下さい。「総合的な学習の時間」、「課題研究」や理科総合等の中で授業の中で意図的に話す場合や話題提供、情報提供の場で、興味、関心を科学に向けさせるようにしていきたい。

「総合的な学習の時間」、「課題研究」の中では大きく環境問題を取り上げる中で、今の環境を考える時に自然の状態を客観的に拾い上げるひとつに放射線が欠かせないものであると痛感しました。同様にエネルギーを考える時には原子力も柱のひとつにし、新エネルギーや化石燃料エネルギーとの客観的な比較もさせたい。メリット、デメリット、リスク、コスト等も考えながら客観的で科学的に正しい判断が出来るような授業展開とそれらのものが実際にどう使われているか認識出来る展開にしたい。

質疑応答、修了式 修了証交付

3月30日（水）

原子力研究所 高崎研究所にて

講義4「地球環境問題と原子力」

講義5「資源・エネルギーと原子力」

東京工業大学 高木客員助教授

講義と実習「放射線利用による新素材の開発（照射加工実習含む）」

環境浄化研究所 須郷代表取締役

新素材開発に伴うエピソードや現状の開発に状況に関するいろいろな話

消臭に関する実験と綿のタオルによる付加価値の実習・実験

写真左 消臭実験



写真右 消臭ハンカチの製作



演習「レポート作成『生徒にどう伝えるか』」

提出レポートの抜粋

3月31日（木）

東京都江東区有明

パナソニックセンター

ダイノソアファクトリー 見学

従来の博物館と異なる展示方法で、展示物を見せるだけでなく、発掘から標本作りまでの実際を見せるとともに、最新の設備、ツールを用いわかりやすく、興味関心を持たせる工夫がされていた。大きくない展示スペースであったが盛りだくさんであった。

写真左 標本作業



写真右 マイスナー効果



日本科学未来館 見学 時間不足で十分見学できなかった。

東京から和歌山へ帰着